

4. 有識者委員会からの助言と対応

- 福岡空港調査 P I 有識者委員会の助言と対応

福岡空港調査 P I 有識者委員会の助言と対応

日時	活動	助言	対応
H20/10/8	懇談会 (空港関連事業者・団体)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明・意見・質疑の時間配分がスムーズであり、質問か意見かを区別しての質疑応答が行われる等、過去の経験を踏まえて、双方の意思疎通が良好になった。 ・P I の最終段階で、議論の対象が明確になったことで、質問・回答の焦点が合うようになった。 ・パンフレットの記述に関して、各案が公平に記載されていると感じる出席者が多かった。 ・事業スキームが将来計画の確定後の問題となることは、民間では理解し難く、質問も多かった。この前提は説明の際に触れた方が判りやすい。 <p>(助言)</p> <p>①事業費の内容・算出基礎・需要予測等の詳細版に記載のある事項への質問は、詳細版の何頁に記載がある等、正確な情報を伝えることで興味を深く持って貰うことができるのではないかと。</p>	<p>①助言を踏まえ、資料の説明につきましても、その他の催しも含め適宜補足説明を行うなど、丁寧な対応を心がけました。今後、この様な催しを開催する場合は、わかりやすく丁寧な説明に心がけて参りたいと考えております。</p>
H20/10/9	懇談会 (空港関連事業者・団体)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の空港事業者に対する懇談会は、出席者が、7社10名で比較的少人数の懇談会でしたので、国、地方行政担当者から、質問に丁寧に回答する時間もあり、全体的に余裕のある落ち着いた雰囲気での懇談会でした。 ・パワーポイントによるスライド説明は、ひとつの画面に文章でかなり細かいことまで盛り込もうとされていたので、少しわかりにくく、説明もかなり速いペースだったので理解の度合いについて心配されました。しかし、出席者の質問の状況からは、よく理解されているようで、最後に出席者の感想を披露する場面では、レポートを含め、分かりやすいというコメントがあっていました。 	<p>①助言を踏まえ、資料の説明につきましても、その他の催しも含め適宜補足説明を行うなど、丁寧な対応を心がけました。今後、この様な催しを開催する場合は、わかりやすい説明資料となるよう心がけて参りたいと考えております。</p>

日時	活動	助言	対応
		<p>(助言)</p> <p>①空港関連事業者の場合、ステップ1からの出席者も多く、かなりよく理解されていると思われましたが、今後の懇談会では、初めての出席者もおられるので、スライドについては絵やグラフを多用するなど、PI レポートの文章をそのまま記載するのではなく、直感的で分かりやすいスライドにされたらいかがかと考えます。</p>	
H20/10/13	オープンハウス (筑後地区)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13時過ぎから約30分間視察。昼時であるにもかかわらず、行ったときには3人がアンケートに答えており、それ以外にも3、4人常時パネルに見入っていた(結果的には当日早く40名の回収があったと聞いている)。質問もいくつかあったようであり、すぐに答えるようにされていた。その後もコンスタントに来訪者がパネルを見ていた。 ・アンケートの回収もこういった調査の割には多いように思えた。エコバッグ配布がよかったのではないか。 ・入り口でPI実施のチラシ配りがされており、PI実施の情報が来訪者にわかるようにされていたのはよい。しかし、場所が記されたポスターが小さく貼ってあるだけで、わかりにくかった。地図などを貼った方がよい。 ・展示場所の横でゲームのイベントが行われており、ちょっとうるさいのではないかと思った。繁華街での場所の確保は難しい面があると思うが、工夫が望まれる。 ・PIパネル展示の場所を示す目印が、のぼりくらいしかなく、わかりにくい。飛行機のビニールおもちゃや飛行機の写真など、わざわざ持って行っているのだから、それらをもっと活用して場所のアピールを工夫することが望まれる。 ・パネルの配置がバラバラでわかりにくい。やはり一列で連続的に見 	

日時	活動	助言	対応
		<p>ないと理解しにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> パネルの内容が、パンフレットの内容と全く同じで、文字が多くて見にくい。やはり重要なグラフなどを抜き出して、よりわかりやすくした方がよい。なお、ウィンド・カバレッジなど専門用語がそのまま書かれていたが、これには解説が必要と思われる。 	
H20/10/14	懇談会 (空港周辺住民等)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港周辺住民との懇談会であり、参加者はおよそ30名であった。自治会の代表の方々だと思われ、地元の立場から福岡空港に対する思いを述べられていた。 滑走路拡張による騒音コンターの拡大の有無といった極めて具体的な内容に関する意見交換があった。 懇談会での主たる話題が「交通問題」ではなく、「まちづくり」「都市計画」の範疇に入るものが多いという印象を持った。現段階では都市計画(福岡のマスタープランに関わる)に関わることがらを具体的に説明することは難しいと思われるが、福岡の今後のランドデザインを考えた上で、こういった質問・疑問にできるだけ具体的に答えられることが望まれる。 需要予測についての説明がやはりわかりにくい印象を持った。需要予測のシナリオの設定などで、専門用語が多数用いられるので、もう少しかみ砕いて説明した方がよい。また、昨今の燃油高騰、世界的不況を加味しているのか、などといった現状認識と、将来需要はどうかといった疑問は至極当然である。説明者側は現状の認識と将来像との関係を明確にするとともに、将来需要が想定している社会像を、できる限りわかりやすく示すことが望ましい。 	
H20/10/15	出前説明会 (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の出前説明会は、50名前後のかなり多人数の出席でしたが、ホテルでの開催で、部屋も大きか 	①助言を踏まえ、以降、適宜補足して説明を行っております。

日時	活動	助言	対応
		<p>ったことから、席にも余裕もあり、出席者にとっては快適な出前説明会になったと思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドによる説明では、画面が大きいものが準備されていたので、文章が多く多少分かりにくい面はありましたが、説明者がかなりゆっくりしたスピードで説明されていたので、理解しやすかったものと思われます。 ・出席者からは、新空港促進の立場から積極的な質問、意見の発表が行われていました。 <p>(助言)</p> <p>①当面の対応策ということで「国内ターミナルビルのセットバック」「平行誘導路の二重化」が最終ページに記載されています。P I レポートにこの方策と、「総合的な調査」や「滑走路の増設」「新空港の建設」との関係の明確な記載がなく、今回質問がありましたので、以降、適宜補足説明が必要と思われました。</p>	
H20/10/15	懇談会 (空港関連事業者・団体)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者が空港関連事業者だけに、専門的な質問も多く、活発な意見交換会となった。 ・P I レポートの内容について、大変わかりやすく整理され、説明も会を重ねるごとに上手くなっているが、それでも質問が多く出た。 <ul style="list-style-type: none"> (1)構想段階まで、どんな手続きを踏んで何年かかるのか。 (2)事業費の国と地元負担の割合はどうなるのか。 (3)平行誘導路の二重化はいつ着工、どのくらいの費用がかかるのか。などの点については、P I レポートの中でも触れた方が良い。 ・福岡市のマスタープランの関連で空港問題を考える人が多いので、わかる範囲で良いので、合わせて説明する方が理解されやすい。 ・今回初めて出席者全員から感想を聞くなど発言の機会を設けたのは良かった。 	

日時	活動	助言	対応
H20/10/17	説明会 (北九州地区)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日・日中の開催では、参加者が限定された印象だった。また、会場が奥まっていたため、場所が判りにくくオープンな印象を与えにくいと思う。 ・事務局からの説明について、語尾が聞き取りにくかった。次回から改善されたい。 ・P Iの最終段階で、案が絞り込まれた一方で、質問・意見は多い割には、内容が散漫になったように感じられた。説明会では、“すでに決まっていることに意見を言う”“今更何を言っても仕方ない”という参加者の印象を払拭する必要を感じた。 ・P Iレポートの記述に関して、各案の記述の公平さは参加者の納得を得ていたように思う。 ・詳細版の内容は、この調査ボリュームから考えると、良くまとまっていると思う。 	
H20/10/22	懇談会 (福岡市)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社、交通事業者、ターミナルビル関係者が参加した懇談会であり、かなり専門性の高い議論がなされていた。 ・説明は丁寧でわかりやすく、また質問やコメントへの対応は丁寧であり、行政職員のコミュニケーション能力の大きな向上を感じた。 ・この背景には司会による適切な要約と論点の整理が大きかったと思う。 ・資料作成、説明方法、質疑応答とその整理など、懇談会の運営技術は大きく進歩し、効果的、円滑な懇談会であったと思う。 ・しかし、参加者が専門性の高い集団であったことによる部分も大きかったであろうが、質疑応答が参加者による質問・コメントと行政職員による回答という常に2方向のみであり、議論が参加者の中で広がっていかなかったことは、参加者間の議論にも期待していた懇談会の趣旨から見て、残念 	

日時	活動	助言	対応
		である。	
H20/10/22	出前説明会 (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、航空関係への就職を希望する女子学生を対象とした講義の一環として開催された出前説明会である。 ・40名を超える出席者がおり、盛況であった。 ・説明は丁寧でわかりやすく、また質問やコメントへの対応は丁寧であり、行政職員のコミュニケーション能力の大きな向上を感じた。 ・また、学生からの質問も活発であり、熱心な質疑が行われたと考える。特に、授業時間を過ぎても、残って、質問をし、また回答を熱心に聞く学生が少なからずいたことは印象的であった。アンケート票の自由記述欄にも、多く記述していたようである。 ・将来の就職先に関係するので、特に関心の深い層かもしれないが、若い層にも着実に興味・意識の輪が広がっていることが実感できた出前説明会であった。 	
H20/10/25	オープンハウス (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンハウスの展示物は、PIレポートの記載内容を拡大コピーしたもので、ゆっくり読まないで理解することは難しいと思われましたが、希望者には担当者がじっくり説明をされており、オープンハウスの趣旨は、ある程度満たされていると思われました。 ・オープンハウスの案内が、エレベータ・駐車場の入り口にあるわけではないので、たまたま通りかかった人しか分からないと思われました。 ・特に目立つ立看板等があるわけではなく、興味を持ってもらってオープンハウスにできるだけ誘導するところまでは見受けられませんでした。 ・興味をもたれた人には、懇切な説明がなされ、アンケートの記入の際には、回答しやすいように、拡大葉書が備えられるなど、細かい 	①より多くの方に興味をもっていただけるように、展示場所のポスターを増やすなどの工夫をしました。

日時	活動	助言	対応
		<p>気配りがされてきました。</p> <p>(助言)</p> <p>①午前中多くの方が来られたとのことでしたが、たくさんの来店者に、興味を持ってもらい、意見を収集することができればさらに良かったと思われました。</p>	
H20/11/4	市民意見交換会 (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人を超す熱心な参加者があり、市民の関心の高さがうかがえたが、大半が高齢者で若い世代の参加が少ないのが気になった。 ・18人の発言者の意見は、言いつばなしのままスレ違いに終わることが多く、この種の会の運営の難しさをのぞかせていた。 ・P I レポートについて、一部データ上の疑問が指摘されていたが、これは事務局できちんと説明し、誤解が残らないようにすべきと感じた。 ・P I の手法、あり方についても一部誤解しているような発言があったが、説明会、懇談会などの場を通じてもっと理解をしてもらう必要性を感じた。 <p>(助言)</p> <p>①発言者の冒頭発言では、それぞれの立場をはっきりさせたうえで、発言してもらう方がよい。</p> <p>②一通り発言が終わったあと、問題を三、四点に絞って論議を進めるような工夫が必要ではないか。</p> <p>③開催日は若い世代の人たちも参加しやすい日時(土、日や夜間など)にした方がよい。</p>	<p>①②③</p> <p>今後、このような催しを開催する場合は、発言者の立場や論点を明確にするなど進行を工夫するとともに、なるべく多くの方々が参加しやすい開催日等を検討したいと考えております。</p>
H20/11/5	出前説明会 (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加学生約80名、階段教室で視覚設備も整っており、良好な環境での説明会であった。 ・事務局説明の導入部(P I の意味、手法、進行状況、問題の所在の説明)が良く工夫された説明となっており、一般の説明会でもこのような基本的な事項の説明があっても良いと感じた。 ・離発着の時間コマ送りのような動 	

日時	活動	助言	対応
		<p>画は、聴衆が一斉に注目することが明確に判った。プレゼンテーションソフトの静止画面が一般化した現在では、このような動画の活用は注意を引くとともに理解を深くすると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの提出率も高かったようであり、今後の空港利用に一番利害関係のある世代へのこのような説明会は、希望があればすべて実施して欲しい。 	
H20/11/6	出前説明会 (福岡市内)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学3、4年生を対象とした講義の時間を利用して出前説明会を開き、学生約70人の参加があった。 ・プロジェクターを使つてのP Iレポートの説明はわかりやすく、大学生ならよく理解できたのではないか。特に、説明の途中で、出席した学生を順に指名し、レポートの一節を読ませるなど、工夫も凝らしていた。 <p>(助言)</p> <p>①説明のあと、学生から何も質問がなかったが、逆にこちらから質問をぶつけるなどして活発な論議をさせるよう仕向けることも、全員の理解を深めるうえで大切だろう。</p>	①より理解を深める場となるよう、進め方などを工夫しました。